

(様式4)  
令和7年4月25日

## 令和7年度 第1回 大阪市立大正北中学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立大正北中学校  
校園長名 脇田 将明

日 時	令和7年4月23日（水）	
場 所	大正北中学校多目的室	
出席者	委員など	委員5名
	校園	脇田将明（校長） 上田武豊（教頭）
	区役所	区政企画担当課長1名
議題	<ul style="list-style-type: none"><li>(1) 令和7年度学校教育目標、学校経営の方針（グランドデザイン）について</li><li>(2) 令和7年度「運営に関する計画」について</li><li>(3) 令和7年度 校長戦略予算・ブロック化予算について</li><li>(4) 学校協議会の予定について</li><li>(5) その他</li></ul>	
協議要旨	協議の結果	意見の概要
	<ul style="list-style-type: none"><li>(1) 令和7年度 学校教育目標、学校経営の方針についての資料を配布し、ご質問ご意見をいただいた。</li><li>(2) 令和7年度「運営に関する計画」について資料を配布し、意見をいただいた。</li><li>(3) 令和7年度 校長戦略予算・ブロック化予算について資料を配布し、意見をいただいた。</li><li>(4) 本年度の学校の年間行事と学校協議会の予定について資料を配布し、意見をいただいた。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・不登校率を数値目標にするのは人間味にかける。実際に不登校の生徒や親が、その数値目標のことを知ったうはどう思うだろうか。</li><li>・不登校が全国で30万人とも言われる現状を踏まえると、現場の学校任せではなく、教育行政が何らかの施策を打っていく必要がある。危機感がなさすぎる。</li><li>・女子の運動に対しての意識が男子に比べると低い傾向がある。</li><li>・特にブロック化予算については、学校裁量の幅を広げるべき。</li><li>・「学力」という概念を、5教科のみ（ペーパーテストのみ）に限定するべきではない。「生きる力」を育む観点から考えると、もっと別の解釈もできるはず。</li><li>・ICTができていないことで、保護者からの苦情・要望など特にない。逆に読み・書き・計算などの基礎学力の充実を求める要望のほうが圧倒的である。</li><li>・ICTは、ほどほどにしないと、子どもに悪影響だ。</li><li>・タイピンクはしっかり教えてあげてほしい。</li></ul>
協議資料	<ul style="list-style-type: none"><li>●運営に関する計画 ●「学校教育目標・学校経営の方針」（グランドデザイン）</li><li>●校長戦略・ブロック化予算書 ●本校年間行事予定および学校協議会委員名簿</li></ul>	
備考	傍聴者[ 0 ]名	